

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
健康指導法	2	後期	演習	1	大窪 智美

○ 授業の到達目標及びテーマ

1. 領域「健康」のねらい及び内容を理解し、指導を行うにあたり留意すべきことを理解する。
2. 計画→実行→評価→改善の過程を実践し、効果的な指導が実践できるようになる。
3. 地域における資源を指導に取り入れることができるようになる。
4. 現代の子どもの健康問題を把握し、将来を見据えた指導ができるようになる。

○ 授業の概要

領域「健康」にかかわる具体的な指導場面を想定し、指導案の作成、模擬保育、評価、改善を行うことで適切な指導方法を習得する。

○ 授業計画

第1回：領域「健康」のねらい及び内容の理解

【事前学修】幼稚園教育要領などの領域「健康」のねらい及び内容を読み理解する。

【事後学修】領域「健康」のねらいや内容を踏まえ、幼児が経験して身につけなければならない内容をまとめる。

第2回：基本的生活習慣を育むための指導内容及び教材の工夫

【事前学修】それぞれの発達段階に適した遊具や教材について調べる。

【事後学修】テーマや年齢を設定し、基本的生活習慣の指導に用いる教材を作成する。

第3回：健康なところと体を育む保育の構想（指導案の作成）

－基本的生活習慣の確立と健康づくりを踏まえた指導内容の検討－

【事前学修】指導のテーマと対象年齢を決定し、指導のねらいを検討する。

【事後学修】指導内容に関する助言を踏まえて、指導案の修正をする。

第4回：健康なところと体を育む保育の構想（教材の研究）

－子どもの理解や行動変容を促す教材や環境構成の検討・作成－

【事前学修】前回検討した指導内容に合った指導教材を検討する。

【事後学修】指導教材の使用を含めた指導の流れを確認し、教材や使用方法に関する再検討を行う。

第5回：健康なところと体を育む保育の構想（模擬保育の実践）

－子どもの理解や行動変容を促す保育の実践－

【事前学修】円滑に指導が行えるよう、場所や物品の準備を行う。

【事後学修】実践後の感想や反省点をまとめる。

第6回：健康なところと体を育む保育の構想（評価と改善）

－模擬保育の映像分析とより良い保育の検討－

【事前学修】模擬保育の参加者が記載した感想や意見に目を通して映像分析に臨む。

【事後学修】改善点を明確にし、指導案の修正を行う。

第7回：健康なところと体を育むための運動遊びと保育の構想（指導案の作成）

－運動遊びを中心とした保育場面の検討－

【事前学修】対象年齢と運動遊びのねらいを明確にする。

【事後学修】助言を踏まえて指導案を修正する。

第8回：健康なところと体を育むための運動遊びと保育の構想（教材の研究）

－子どもが安全で意欲的に参加できる教材や環境構成の検討・作成－

【事前学修】使用する教材の安全性や参加人数に合った個数・大きさを検討する。

【事後学修】教材の使用を含めた指導の流れを確認し、教材や使用方法に関する再検討を行う。

第9回：健康なところと体を育むための運動遊びと保育の構想（模擬保育の実践）

－子どもが安全で意欲的に参加できる運動遊びの実践－

【事前学修】安全に尚且つ円滑に活動が行えるよう、場所や物品の準備を行う。

【事後学修】実践後の感想や反省点をまとめる。

第10回：健康なところと体を育むための運動遊びと保育の構想（評価と改善）

－模擬保育の映像分析と子どもが安全で意欲的に参加できる運動遊びの検討－

【事前学修】模擬保育の参加者が記載した感想や意見に目を通して映像分析に臨む。

【事後学修】改善点を明確にし、指導案の修正を行う。

第11回：安全な保育環境の構想

－ワークシートを活用したリスクの把握と分析力の習得－

【事前学修】保育中の事故の傾向について調べる。

【事後学修】保育における安全な環境づくりと子どもに対する安全教育の内容についてまとめる。

第12回：健康指導における保護者との連携とその具体的方法

【事前学修】保護者との連携の方法をまとめる。

【事後学修】連携の方法の1つとして保健だよりを作成する。

第13回：地域における遊び場のリサーチと活用方法

【事前学修】地域における子どもの遊び場をピックアップする。

【事後学修】ピックアップした遊び場を親子に紹介するためのチラシを作成する。

第14回：いのちの教育の必要性とその具体的方法

【事前学修】 幼稚園教育要領等に記載されている生命の尊さに関する内容をまとめる。

【事後学修】 いのちの教育に活用できる教材について調べる。

第15回：学童期以降の健康を見据えた保育

【事前学修】 幼児期の終わりまでに育てほしい10の姿についてまとめる。

【事後学修】 上記10の姿の1つである「健康な心と体」を育むために、保育者として心得ておくことをまとめる。

定期試験

○ テキスト

「実践例から学びを深める保育内容・領域 健康指導法」清水将之・相楽真樹子編著. わかば社

○ 参考書・参考資料等

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省. フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省. フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省. フレーベル館

○ 学生に対する評価

定期試験50% 模擬保育の実践30% 課題20%